

高山中学校 校内研修だより

No. 2 宮下先生

11/1(火) 5校時

3-A 保体

「自他のよさを認め、自ら判断し、よりよく生きようとする生徒の育成」

～道徳の時間における話し合い活動のさらなる充実を通して～

11/1(火)に一人一授業として授業公開を行っていただきました。公開していただいた宮下先生、参観してくださった先生方ありがとうございました。

本時のねらい

喫煙が心身に様々な影響を与えることを理解し、喫煙防止につながる取り組みを考える。

校内研修との関わり

話し合い活動を通して、社会生活における喫煙への決まりを考えさせることで、本校研修主題に迫れるものとする。

授業の展開

過程	学習活動	時間	学習の支援及び留意事項
導入	1. アンケート調査の結果を話す。 2. たばこの煙はどんなに汚れているのか、実験してみる。	10分	○あなたが将来、20歳以上になったらたばこを吸うと思いますか。の問いに対し、解答を生徒に伝える。 吸う0人 吸わない25人 わからない2人 ○実験の方法（意味）を説明しながら行う。 ※たばこの煙が教室にたまらないようにしっかり換気する。
展開	3. 喫煙に関する基礎的な知識を調べ確認する。 ※教科書を参考にしながら「ワークシート」にまとめる。 4. 喫煙防止には、どんな取り組みがありますか。また、どんな取り組みができますか。	35分	○基礎的な知識については教科書を活用する。 ○未成年者から喫煙を開始すると強い依存が生じてやめにくくなること、喫煙期間が長くなるために心臓病などの病気になる危険性が高くなることに言及する。 ○必要に応じて写真やデータを提示する。 ○個人で考えたあとに、小グループで意見交流をして考えを深めさせる。 ※20歳以上は禁止できないが、いろいろな取り組みによってたばこの害から守られていることや吸う人が減ってきていることをしっかり押さえない。
終末	5. 本時で学習したこと感想を書く。	5分	○積極的な意見を賞賛しながらこれからの生活へとつなげるようにする。



参観者より

本時のねらいに関して

よかったところ

○ペットボトルの実験は、生徒も興味深く見ており、透明な水が黄色くなり影響があるのが一目瞭然でよくわかった。

○一人一人が真剣に考えることができた。

疑問に思ったこと・改善したい点など

●ミミズの実験をタブレットにとり込んで映したらどうだろうか。

話し合い活動に関して

よかったところ

○「喫煙防止にはどんな取組がありますか」なかなか書けない生徒がいましたが、グループ学習にしたので、考えるきっかけができました。効果的だった。

○各班ともリラックスした雰囲気ですぐに話し合うことができていた。

○各班で話し合った意見をよく挙げていた。

疑問に思ったこと・改善したい点など

●グループの意見を発表させてから一斉指導にもどした方がよかった。

●アンケート結果では、将来たばこを吸おうと考えている生徒は”0”だった。本当にそうだろうか？という疑問が残るので、誘われたらどうするかなどを考えさせてみてほしいのでは。

●現在行われている取組を考えている班もあればどんな取組ができるかを考えている班もあったので、分けて考えさせてもよいのではないかと。

